

# 上映会 映画「大丈夫。-小児科医・細谷亮太のコトバ-」

## 講演会

細谷亮太氏

2012年3月1日(木) せんだいメディアテーク7階  
仙台市青葉区春日町2-1 電話022-713-3171 ※地下鉄勾当台駅 徒歩6分

## チャリティ 宮城初上映

①昼席 15:00 上映会のみ 1,000円  
②夜席 18:30 上映と講演会 1,500円

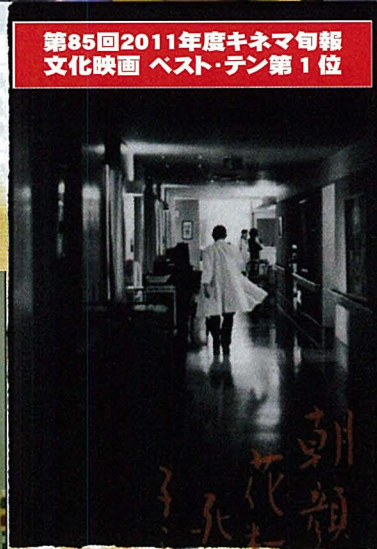
(当日券 各席500円増)  
※前売券売切れの場合は  
当日券販売はありません

開場は  
30分前



### 細谷亮太医師

聖路加国際病院 副院長  
宮城県立こども病院理事  
連載中・暮らしの手帖  
「いつもいいことさがし」  
河北新報・日曜「医人俳人」



第85回2011年度キネマ旬報  
文化映画 ベスト・テン第1位

小児科医・細谷亮太のコトバ

(ドキュメンタリー映画)  
伊勢真一 演出作品

俳句で綴る  
初のヒューマ  
ンドキュメ  
ンタリー映画



私は悲しいときに泣けなくなったら  
医者を目指すべきだと思っています。

「人生、長いかわいかわいではない。

生まれたことにこそ意味がある、としみじみ思います」

約40年間、小児がん治療に取り組んできた聖路加国際病院

副院長の細谷亮太医師(山形県出身)の姿を追ったドキュメンタリー映画。

俳人でもある細谷亮太医師の句や語りを通じ、小児がんで亡くなった

子どもたちの人生が描かれている。「大丈夫」は細谷医師の口ぐせ。

カラ—85分

「お祈り」と同じようなおもいで、診察のたびに「大丈夫」と声を掛けてきた。

前作「風のかたち」(平成21年度・文化庁映画賞・日本カトリック映画賞受賞)の姉妹編。

### 上映会アンケートより

「こんな時だからこそ、命を考えることを…」

「死ぬということは生きる時間の長さや重さだと痛感しました」

「宇宙、大自然への畏敬と感謝と未来への祈りがこもっている」

「ただただ涙。ふさわしい言葉が見つかりません。心が揺さぶられています」

「与えられたいのちを、「今」を大事に生きようと思える、そんな映画です」



屋敷の席とも  
定員になり  
次第、締切ら  
せて頂きます。

主催:「大丈夫。」自主上映&細谷亮太医師講演の会

後援:仙台市教育委員会 河北新報社

●予告編をご覧になれます。→ 大丈夫予告編 細谷 で 検索

●経費を除いた全額を3・11東日本大震災義援金とさせていただきます。

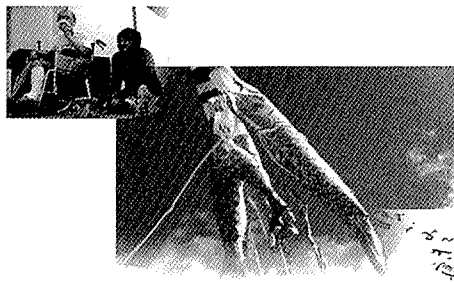
お問合せ:櫻井光雄  
電話090-7075-5011

〒984-0015 (平日11:00-18:00)

宮城県仙台市若林区御町5-7-205アンドビー(有)内



幼い葉子の  
血の色  
医者も  
やめた日



朝の目、  
透ける...  
ふんぞり  
カブ



眼みえず身もまみえず  
寝たオウのまに  
鯉のぼり  
いのちの  
夢に泳ぐ



# 大丈夫。

「大丈夫」もお祈りですね

小児科医・細谷亮太の  
「いのち」を見つめるコトバたち

「大丈夫。」は小児科医・細谷亮太さんの口グセです。  
診察を終えた病気の子どもたち一人ひとりに必ずそのひと言葉を添えて、励まします。  
それは、40年来、小児がん治療の最前線で子どもたちの「いのち」と向き合い続けてきた、細谷先生の自身への、励ましのコトバなのかもしれません。

「小児がんの子どもたちの7割から8割が治るようになっていくこと、しかし、その事実があまり知られていないことが、治った子どもたちの生きにくさに繋がっていることを知ってもらうために、十年以上の歳月を経て、映画『風のかたち』小児がんと仲間たちの10年」を完成させました。そして、編集室には膨大な未使用の映像が残されました。何しろ1000時間にも及ぶ映像を1時間45分にまとめたのですから...  
その中でもほとんど使われなかったものに、先生へのロングインタビューがありました。全部で20時間程の「いのち」を見つめたコトバたちです。

「朝顔の花数死にし 子らの数」(咲々)

病気の子どもたちとの40年にわたる日々を綴った、細谷亮太(先生の番号)の二冊の句集をめぐりながら「風のかたち」に続く姉妹作「大丈夫。」を創ろう、という思いが湧き上がりました。

映画「大丈夫。」小児科医・細谷亮太の「コトバ」は、些細なことにメゲて落ち込んでしまう癖のある私や、映画を観る一人ひとりへの、励ましのひと言葉です。それは、細谷先生の「コトバ」を借りて、沢山の子どもの心がかけてくれている、お祈りなのかもしれません。  
映画を観終えたら、貴方も誰か他の人に「大丈夫。」と言いたくなるにちがいないと思います。

伊勢真一(かんとく)

出演 細谷亮太 (聖路加国際病院)  
スマートムンストン 聖路加国際病院  
細谷医院 財団法人がんの子どもを守る会  
毎日新聞社 キープ自然学校  
そらぶちキッズキャンプ  
石本浩市 (あけぼの小児クリニック)  
月本一郎 (済生会横浜市東部病院こどもセンター)  
本橋由紀 中島晶子 近藤博子  
鈴木彩 渡邊輝子 横川めぐみ  
キャンプに参加した子どもたち  
鈴木珠生 川田智之  
中川太朗 高遠賢  
清水晶子  
石倉隆二 世良隆浩  
撮影 眞輪崇一  
照明 眞輪崇一  
音響構成 渡辺丈彦

録音 永筆康弘  
作曲 横内丙午  
チェロ演奏 白神あき絵  
編集技術 田辺司  
題字 細谷亮太  
撮影協力 内藤雅行 田辺司 東志津 宮田八郎  
制作 米山靖 助川鴻  
監修デザイン 森岡寛貴 (ジオグラフィック)  
上映デザイン 保田則子  
ステール 坂井信彦  
制作協力 ヒボコミュニケーションズ 一興社  
MOCプロジェクト  
エーザイ株式会社  
製作 いせフィルム  
スマートムンストン関連映画製作委員会  
演出 伊勢真一

細谷 亮太 (ほそや りょうた)

小児科医  
聖路加国際病院副院長  
1948年山形県生まれ。小児がんの子どもたちの治療にたずさわると同時に、子どもたちのキャンプ活動や執筆活動にも取り組む。主な著作は「いつもいいことさかし」(暮らしの手帖社)「生きるために一句」(講談社)「生きようよ」(岩崎書店)など。句集に「桜桃」「二日」がある。

伊勢 真一 (いせい しんいち)

ドキュメンタリー映像作家  
1949年東京都生まれ。「奈緒ちゃん」「ありがとう」「えんご」「風のかたち」をはじめ、多くのヒューマンドキュメンタリーを製作。近年は若手の作品プロデュースも積極的に手がけている。日常をふんわりと映し出す映像の中に、生きることの素晴らしさが込められた独特の作風で知られる。

お問合せ いせフィルム 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-3-7 青山N-ブリックビル3階 E-mail ise-film@rio.odn.ne.jp  
TEL 03-3406-9455 FAX 03-3406-9460 HP http://www2.odn.ne.jp/ise-film/

「がんで亡くなった子どもや、津波にのみこまれた人とつながるような体験。そこに「いのち」や「こころ」が映っているのかもしれない」

「映画は窓であり鏡だ」  
伊勢真一監督

## お申し込み方法

- ①ご希望のかたは下記に必要事項をご記入のうえFAX又はE-mailでお申し込みください。
- ②下記口座へ料金をお振込み下さい。(振込み手数料はご負担願います)
- ③ご入金確認後、チケットを郵送させていただきます。

【郵便振込】口座	02230-3-110618	加入者名	さくらいみつお
お名前	お申込み(昼夜・枚数)		TEL
	昼席 1,000×	枚=	
ご住所 〒	夜席 1,500×	枚=	FAX
			円
	E-mail		

### 会場MAP



●ファクス送信の際は、チラシ全面をお送り下さい。●FAX、Mailでお申込み後、3日経過しても事務局より連絡がない場合には、お手数ですがお電話ください。

FAX 022-231-6690

mail sakurai.andb@nifty.com

●キャンセルによる払い戻しは致しませんのでご了承下さい。